

事業所名: キャリー保育園八丁堀

令和3年度
東京都福祉サービス第三者評価

評価結果報告書

評価機関(機構07-172)
合同会社 福祉経営情報サービス

福祉サービス第三者評価結果報告書(令和3年度)

2022 年 2 月 28 日

キャリア保育園八丁堀
園長 長谷部真琴殿

郵便番号 104-0061
所在地 東京都中央区銀座6-6-1 銀座風月堂ビル5F

評価機関名 合同会社 福祉経営情報サービス

認証評価機関番号 機構 07 - 172

電話番号 03-5537-7750

代表者氏名 渡邊廣貴

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	渡邊廣貴	経営	H0403033
	②	川邊明美	福祉	H2001044
	③	高谷史郎	福祉	H1201010
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	地域型保育事業 小規模保育所			
調査対象事業所名称	キャリア保育園八丁堀			
事業所連絡先	郵便番号	104-0043		
	所在地	東京都中央区湊1-2-2 大倉ビル1F		
	電話番号	03-6228-3426		
事業所代表者氏名	長谷部真琴			
契約日	2021 年	11 月	8 日	
利用者調査票配布日(実施日)	2021 年	11 月	8 日	
利用者調査結果報告日	2021 年	12 月	9 日	
自己評価の調査票配付日	2021 年	11 月	8 日	
自己評価結果報告日	2021 年	12 月	9 日	
訪問調査日	2021 年	12 月	14 日	
評価合議日	2021 年	12 月	25 日	
コメント (利用者調査の工夫点、補助者・専門家等の活用などを記入)	利用者調査(アンケート): ・配布は事業所に協力をして頂いた。 事業評価: ・経営層自己評価の中で課題として認識している項目については、その課題に対する対応状況等を聞き取り現状の把握に努めた。			

評価機関から上記及び別紙の調査結果を含む評価結果報告書を受け取りました。

年 月 日

事業者代表者氏名 キャリア保育園八丁堀 園長 長谷部真琴 印

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>～保育理念～</p> <ul style="list-style-type: none">・安心と安全を提供します。・遊びと学びの体験を通して生きていく力を育みます。・職員の能力を伸ばし、保育の質の向上を実現します。・家庭と保育園はパートナーです。
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>（1）職員に求めている人材像や役割</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもが好きな人。・子ども一人ひとりのことをきちんと理解し、気持ちに寄り添い、考え、関わることのできる人。・周囲の心情や状況に気づく力を身につけ、協調性をもって臨機応変に動ける人。・率先して行動に移せる人。・自身を振り返り、向上心を持って取り組める人。 <p>（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもの人権を守れる存在であるということ。・意見を出し合い、実行しながらより良い保育環境づくりを目指す。・子どもの発達や特性など、専門的な知識を習得し、日々の保育に生かす。

調査対象	保育園を利用している全世帯の保護者を対象に調査を行った。 1世帯で複数名の子どもが通園している場合は1回答とした。 子供総数:15 世帯数:15		
調査方法	・調査項目:東京都福祉サービス第三者評価の標準様式に準拠。 ・事業所への報告:自由回答については匿名性への配慮を行った上で事業所に報告した。		
利用者総数	15		
利用者家族総数(世帯)	15		
共通評価項目による調査対象者数	15		
共通評価項目による調査の有効回答者数	10		
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	66.7		

利用者調査全体のコメント

総合的な感想では「大変満足」が回答の70%、「満足」が30%であり、すべての回答者が「大変満足」「満足」のいずれかを選択している。

総合感想の自由記述では、「先生方が『子ども大好き!』と言う気持ちが伝わってくる方が多く、大変信頼しています。」「小規模の良さを生かし、職員のみなさんが子どもたち一人ひとりをよく見てくださっているのが、安心しています。」「狭い空間ながらも工夫してスペースを確保して、安全に子どもたちが遊べるようにしてくださっていると感じます。一人一人の子どもに十分に目が行き届いていると思います。」など、職員への信頼感を伝える回答が多く得られている。意見としてはおむつ替えの頻度等に関する内容のコメントがあった。

個別の設問では、「はい」の回答率が100%の設問も比較的多く、大部分の設問で自由回答が得られている。

なお、以下の利用者調査結果のコメントにある選択肢の回答率については「無回答・非該当」を除いた数値を参照して記載している。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	10	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択している。設問の自由意見では「色々覚えて帰ってきて家で披露してくれます。」という回答があった。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	10	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択している。設問の自由意見では「毎日楽しみに通っています。」という回答があった。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	9	1	0	0
回答者の90%が「はい」を選択している。「少しずつ食べる量も増えてきている」という回答や、食べ具合について担任から細かく報告があるため助かっているという内容の回答があった。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	9	0	1	0
回答者の90%が「はい」を選択している。「公園遊びで砂場や落ち葉に触れて楽しそうです。」という回答のほか、「戸外活動がもっとあれば良いと思います。」という回答があった。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	8	0	0	2
「無回答・非該当」を除く回答者全員が「はい」を選択している。この設問に関する意見はなかった。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	8	1	0	1
「無回答・非該当」を除く回答者の89%が「はい」を選択している。この設問では「問題ないと感じます。」という回答があった。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	9	1	0	0
回答者の90%が「はい」を選択している。この設問では「問題ないと感じます。」という回答があった。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	8	2	0	0
回答者の80%が「はい」を選択している。設問は「お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか」であり、「それをとても感じたので入園を決めた」という内容の回答のほか、「お迎えの際などに相談出来るので助かります。」という回答などが得られている。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	10	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択している。「できる範囲内での最大限の努力をされていると思います。」「毎朝きちんとお掃除されていて清潔です。」という回答があった。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	9	1	0	0
回答者の90%が「はい」を選択している。「人による」という旨の回答のほか、「問題ないと感じます。」という回答があった。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	10	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択している。「細かい事でも、伝えてくださってありがとうございます。」「すぐに対応していただき助かります。」という回答があった。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	5	1	0	4
「無回答・非該当」を除く回答者の83%が「はい」を選択している。この設問に関する意見はなかった。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	10	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択している。設問の自由意見では「問題ない」とする回答があった。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	7	0	0	3
「無回答・非該当」を除く回答者全員が「はい」を選択している。設問の自由意見では「問題ない」とする回答があった。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	9	1	0	0
回答者の90%が「はい」を選択している。設問の自由意見では「人による」という旨の回答のほか、「問題ない」とする回答があった。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	6	1	0	3
「無回答・非該当」を除く回答者の86%が「はい」を選択している。設問の自由意見では問題ない」とする回答のほか、「そういった事がなかったのではありません。」という回答があった。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	3	1	2	4
「無回答・非該当」を除く回答者の50%が「はい」を選択している。設問の自由意見では「知らなかった。」という回答があった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目		
1	カテゴリ1		
	サブカテゴリ1(1-1)		
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している		評点(〇〇)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている		評点(〇〇)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○非該当	
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○非該当	
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当	
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当	
カテゴリ1の講評			
<p>職員には入社時に、保護者には入園時に、理念や方針が丁寧に周知されている</p> <p>法人・園の理念については採用面接時と入社初日のオリエンテーション時に職員に向け説明がされている。入社時は入園のしおりを読み合わせ、施設の目的や保育理念などを伝えており、4月入社の職員にはリモートにより社長講話を聞く機会も設けている。保護者向けには園のウェブページに園が大切にしている事を掲載し周知しているほか、園のしおり(重要事項説明書)を配布し、入園面談の時に読み合わせをして理念に関する説明がされている。また、2020年度2021年度は中止されているが保護者懇談会でも理念について保護者に伝えられている。</p> <p>乳児の保育園として、また、保育者としてのありがたい姿が園長から伝えられている</p> <p>4月の職員会議では園の理念や課題、保育者としての姿をパート職員を含む全職員に園長から伝えており、また、「一人ひとりの個性を大切にしよう」「温かいふれあいや楽しい体験をたくさん取り入れよう」と、自園の目標を4月に立てて周知している。</p> <p>園長は運営を管理し現場は主任が統括しており、要所で声をかけてもらい園長も保育に入っている。園では乳児園であるため声かけを大切に、保育者としての姿を一人ひとりがしっかり持って働き、個々に意識して声を掛け合い、準備を円滑にして話しやすい職場環境づくりを推進している。</p> <p>重要な決定事項は職員、保護者に迅速に周知されている</p> <p>毎月系列園の園長会で重要事項について話し合っている。また、不明なことや相談事項は本部窓口で確認し相談ができる体制がある。本部の決定事項は毎月の職員会議や朝、昼の申し送り職員に周知している。職員からの意見は職員会議で提案されるほか、園長に直接伝えられることも多く、個別の事案は面談で確認し対応することも多い。</p> <p>重要な決定事項の保護者への連絡については、早急かつ確実に関係者に伝わるよう、書面と併せて開封確認ができるメール連絡網を使用したり、個別に電話連絡をするようにしている。</p>			

2 カテゴリー2		
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
カテゴリー2の講評		
<p>法人でアンケート調査や人材活性調査を実施して保護者・職員の意向が把握されている</p> <p>保護者参加の行事後に保護者からアンケートを取っている。保育参加時などは給食の試食の感想や保育参加についての総合的な感想を確認しており、内容をまとめて保護者に配布している。また、年度末には法人全園でWEBを活用して園の保育に関するアンケートを実施しており、保護者意向の把握がされている。職員の意向については本部が人材活性化を目的とした調査を実施しており、人材育成などに活用されている。園内では日常的に職員の意見を積極的に聞き入れ、実現できる形を模索しつつ園を運営している。</p> <p>系列園の園長会や区の園長会などから地域福祉や保育ニーズなどの情報が得られている</p> <p>系列園の園長会からの情報のほか、本社からの情報により福祉や保育事業の動向などの情報を把握している。また、中央区が主催して毎月対面で開催されている私立園長会への参加により、地域福祉や保育ニーズなどについての情報を得ている。園では保護者や職員の意向や園内の状況、系列園や地域からの情報に基づき園の課題を把握して園運営に活かしている。今年度の事業計画については今年度就任した園長が理念や前年度の事業計画にもとづき作成している。</p> <p>事業計画を半期で振り返り、課題の解決に園全体で取り組んでいる</p> <p>事業計画は保育目標と保育内容、年間行事、食育・保健・要支援児の各計画、子育て支援・地域交流、危機管理、職員研修計画を記し作成されている。また、年2回の運営委員会時には事業計画と現状を照らして振り返っており、運営委員会のレジュメに記載して保護者などに周知されている。</p> <p>園の課題解決には職員全員であたることになっている。例えば、戸外活動の事故防止や不適切保育をなくすなどの個別課題に対し、研修や理解浸透策の実施等に園全体で取り組み、職員会議時に反省を行ない、各クラスで振り返っている。</p>		

3 経営における社会的責任			2/2
サブカテゴリ1(3-1)			
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる		○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。		○非該当
サブカテゴリ2(3-2)			
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある		○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している		○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		○非該当
サブカテゴリ3(3-3)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	3/3
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点(〇)・非該当1	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる		○非該当
○あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している		●非該当

評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇)・非該当1
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input checked="" type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ3の講評		
保育者としてのあるべき姿を定期的に話し合っている 子どもの人権尊重や保育者としてのあるべき姿について意識できるよう園内研修や職員会議等で職員に伝え、定期的に話し合う場を持っている。また、基本的に毎月開催している園内研修では、園長と主任が毎年通年の内容を検討し、今年度は保育の質の向上や子どもの発達、コミュニケーションスキルや保育者の対応基準、不適切保育などについてテーマとして取り上げて実施しており、園長以下、職員が講師を務めて園全体での理解を深め、保育の質の向上に努めている。そのほか、毎日の振り返りシートで言葉遣いや身だしなみについて各自が確認している。 苦情相談窓口は利用しやすいよう工夫して周知し、運営委員会からも意見が得られている 苦情相談窓口については入園のしおりに記載し、入園面談時に保護者に周知されている。園内には相談窓口のポスターが掲示されており、苦情受付責任者、受付担当のほか、第三者委員についても連絡先を伝えている。また、周知ポスターには意見投稿のQRコードを掲載し、保護者が意見を投稿しやすいよう工夫がされている。園内で得られた要望や苦情については苦情受付簿に記録する仕組みがある。そのほか保護者意向は年2回開催し第三者委員も出席する運営委員会で作成して後日配布している。 虐待防止ではマニュアルを整備し、毎年研修を行なって対応する体制が整えられている 園内には児童の権利擁護について掲示がされており、毎年研修を実施している。虐待防止マニュアルには基本事項とフローチャート、チェックリストを掲載して活用がされており、必要な措置を講じる体制がある。 カテゴリ3-3-1-2, 3-3-2-1については、東京都福祉サービス第三者評価の共通評価項目に関する通知で認証B型、認可外は任意項目とされていることから、定員、対象年齢が類似している当保育所の評価においても同ガイドラインに準拠し「非該当」としている。		
カテゴリ4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況
		4/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		
評点(〇〇〇〇●)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ-4の講評		
<p>危機管理マニュアルを整備し、定期的な各種の訓練を実施して安全性の向上に努めている</p> <p>安全確保については地震、風水害、落雷、PM2.5、光化学スモッグ、火災に関する法人統一の危機管理マニュアルがあり、必要時に参照されている。また、水害避難計画が策定されている。避難訓練は火災と地震について年間で計画されており、避難、消火、通報、引き渡しなどの訓練が毎月実施されている。また、散歩中の被災を想定した訓練も実施し総合訓練は年2回実施されている。救急救命訓練は消防署で受講し、AEDの扱いを含めたSIDS対応訓練は2か月に1度園内で実施している。防犯訓練は年2回実施し警察が立ち会うこともある。</p> <p>事故については対応策を園内で検討し、事故予防と再発防止に取り組んでいる</p> <p>大規模災害時の事業継続計画(BCP)については園内で確認できず、策定することが望まれる。園内で起きた事故については事故報告事故に記録して対応がされているほか、ヒヤリ・ハットの収集がされている。ヒヤリ・ハットでは軽微な事故とヒヤリとしたことを報告しており、ヒヤリはたくさん提出できている。収集したヒヤリ・ハットについては状況を共有し対応策を職員皆で検討して事故予防と再発防止に取り組んでいる。</p> <p>重要データはアクセスを制限して情報の保護と共有をしている</p> <p>個人情報取扱規程には利用目的や開示請求への対応が記載されている。情報の扱いについては就業規則に遵守事項を定め職員に定期的に周知している。また、入社時に守秘義務などについての誓約を得ている。個人情報などの重要書類は鍵付きの書庫に保管している。園内では出退勤や午睡チェック、登降園管理でICTを利用している。また、連絡メールや名簿などはPCで管理してデータは本社と共有しており、単発にはパスワードをかけ重要なデータには園長のみがアクセス出来るようにして情報の保護と共有がされている。</p>		
カテゴリ-5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
		3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー5の講評		
<p> 個々の経験や役職に応じた評価と目標設定をして人材の育成に取り組んでいる 法人ウェブページの採用情報欄にキャリアパスの概要を掲載し入社前から確認できるよう配慮がされている。また、入社時に資料を用いてキャリアパスについて職員に伝え、役職登用の際にもキャリアパスを伝えて意識してもらっている。人事制度では人事考課と目標管理の運用がされており、階層別の人事考課シートの項目に基づき評価を行うとともに、年2回の面談で職員が自らの役割を理解する機会を設けている。目標管理では半期毎に自己目標を設定して園長との面談時に振り返りが実施されている。 </p> <p> 毎月実施する園内研修は勤務形態に関わらず参加を呼びかけて開催されている 都のキャリアアップ研修を活用している。外部研修については区の保育者実務研修などに職員の立場や経験、担当する職務等を考慮して参加してもらっている。また、必要に応じて個別に園内研修の機会を設けている。園内研修は月1回、子どもの発達などのほか、リズム運動や嘔吐処理、気になる子の配慮などのテーマで実施し、保育のアイデア発表会や1年の振り返りも研修の時間に行なって質の向上と改善に繋げている。園内研修については勤務形態に関わらず、子どもと関わる保育士にはできる限り参加を呼びかけ、また、資料を渡して学ぶ機会を設けている。 </p> <p> 職員個々の心身の健康に留意し、話しやすく働きやすい職場づくりを推進している 面談や毎日の振り返りシートの記入などで職員の状況や意向を把握し、就業時間の調整や休暇の計画等、ワーク・ライフ・バランスに配慮している。 有給消化率はほぼ100%であり、年3日のリフレッシュ休暇も取得できる。また、心身の健康の確保について、互いに気遣いできるような職場環境づくりに努めている。職員会議や個別の相談など、コミュニケーションをとる機会を積極的に作り、また、申し送り時や職員会議の場では職員が意見やアイデアを出し合う時間を設けて話しやすく働きやすい環境づくりを推進している。 </p>		

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

保育実践の中で個別配慮や支援を考える必要性が生じ、発達の違いを理解することで支援の方法を探り、課題解決に取り組む為、2020年度は保育内容の見直しを行い、各年齢や個々に応じた発達の違いや支援を理解することを目標とした。
 取り組みとして、年間を通して発達支援事業者と連携し、支援員のサポートを受けながら対応にあたった。また、定期的な巡回の中で、子どもの様子を観察、様々な観点より助言、アドバイスを受けることで配慮や支援方法について話し合った。
 その結果、職員の知見が広がり、見方や考え方に柔軟性が生まれ、個の成長を促す手助けとなった。園児にとっても受け入れてもらえ安心感をもって生活する環境が整い、支援の質の向上を図ることができた。
 実施事項を振り返り、今年度は月齢に即した発達課程の知識や関わり方の習得と、前年度の保育内容、指導案を参考に、具体的な個人目標の設定など援助・支援の一層の向上に取り組んでいる。

<p>目標の設定と 取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

取り組むべき課題から目標を明確化し、年間を通じた発達支援事業者との連携の中で配慮事項や支援方法を学んだ。結果として支援の質の向上が図られており、次年度の発展的な内容が計画されるとともに継続的な取り組みにつなげられている。保育実施面の重点課題については事業計画にも明記すると事業計画ベースでのPDCAを実施しやすくなるため、反映させることを勧めたい。

<p>評価項目2 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)</p>	
<p>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</p> <p>新型コロナウイルスの影響により外部研修ができなかった為、園内研修の充実を図り、特に保健・衛生面での危機管理に重点を置いて研修の時間を設けた。実施にあたっては年間計画を作成し、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士としての心得 ・アレルギー対応 ・応急処置や緊急時の対応 ・気になる子どもの報告と配慮点(巡回指導より) ・嘔吐処理講習 等 <p>をテーマとし毎月の研修を実施することとした。</p> <p>結果として新型コロナの流行による休園期間があり、年12回の研修には至らなかったがほぼ達成することができた。また、研修内容が活かされたことで蔓延を防止し、職員の対応力の向上と園内の感染症対策の徹底ができた。</p> <p>前年度の取り組みにより研修の重要性を再認識し、今年度は職員主導で保育に関するより幅広い研修を計画して実施している。保育士としてあるべき姿から、より質の高い保育を目指し、柔軟な考え方や対応の強化を図っている。</p>	
<p>目標の設定と 取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</p> <p>新型コロナ感染防止という緊急度の高い課題に対応すべく、外部の研修機会が持ちづらいことから内部での研修を充実化して対応力の強化を図った。研修の成果は現場での実践場面で発揮され、感染症の拡大防止につながった。園内研修についてはその重要性を認識したことから今年度はさらなる充実化が図られており、結果を振り返り次年度の実施事項につなげられている。</p>	

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目		
サブカテゴリー1			
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている		○非該当
●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している		○非該当
●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している		○非該当
サブカテゴリー1の講評			
<p>ウェブページやパンフレットには園の情報がわかりやすくシンプルに記載されている</p> <p>園のホームページには室内の様子や園として大切にしていることが掲載され、施設やスタッフの紹介など、園の雰囲気が伝わりやすく作成されている。リーフレットには概要の案内のほか、保育理念と保育目標、主なデイリープログラム、年間スケジュールなどがシンプルにまとめられている。また、コロナ禍で室内を歩いて見学することを制限しているため案内用のパンフレットを独自に作成している。パンフレットには玄関から保育室、トイレ、手洗い、0歳用の寝具や椅子、玩具などを写真で紹介されており、視覚から園内の様子を確認できる内容となっている。</p> <p>保育に関する情報がわかりやすく掲示され、生活の様子が伝わりやすい</p> <p>施設情報は子ども子育て支援情報公開システム(ここdeサーチ)に公表されている。入り口付近には掲示のコーナーを設けて保護者向けの情報をひとまとめにしており、保護者にとっても情報を確認しやすいよう工夫がされている。また、写真を用いた職員紹介や虐待防止のポスター、区が発行している育ちのカルテなどを掲示し、各種パンフレットなども置かれている。そのほか、お散歩マップやお誕生会の写真等、園生活の様子がイメージできる掲示も多く、来訪者が園の雰囲気を把握しやすい環境となっている。献立表も掲示され、献立表は持ち帰りができる。</p> <p>工夫して園内の様子を伝え、丁寧な案内を心がけて見学の対応をしている</p> <p>見学の希望があれば年間を通して対応している。コロナ禍であり活動中に施設内を見て回ることはせず、見学時は見学用に作成したパンフレットに沿って中の様子や1日の流れ、持ち物、戸外遊びのことや、連携園があること、小規模なので子どもに寄り添いやすく一人ひとりを見ることが出来る事、全員で季節の行事に取り組むこと、異年齢の交流が自然に行われている事など、園の特徴を伝えている。また、行事の動画や写真の販売があることなどを伝え、できる限りの工夫をして丁寧な案内を心掛けて案内を実施している。</p>			

サブカテゴリ-2		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2の講評			
<p>入園時には重要事項を丁寧に説明し、個人情報の同意は細やかに確認している 家庭状況など、保護者が記入する書類は面談前に郵送して提出してもらい面談時に確認をしている。2月から3月前半にかけて実施する入園前面談では契約書と重要事項説明書を読み上げて説明し、保護者からの質問に答えながら契約を結んでいる。説明事項と個人情報の使用については面談時に同意を得ており、肖像使用の同意については使用目的ごとに同意を得ている。面談は子ども個々の状況を把握するために十分な時間をかけており、雑談を交えながら、安心して預けられる環境であることを理解してもらえるよう丁寧なやりとりを心掛け実施されている。</p> <p>入園当初は子どもと保護者が安心して園の生活を開始できるよう配慮している 保護者記入書類や面談時に得られた内容など、入園時に得られた情報は子ども個別のファイルを作成してまとめており、これらの情報や留意点を職員会議等で全職員に周知して、受け入れの準備をしている。 登園開始当初は通常2週間程度、慣れるための期間を設定し、無理のない活動内容で保育を進め、子どもの様子を見て少しずつ保育時間を伸ばすようにしている。なるべく一対一で関わる時間を設け、保育者を多めに配置することで安心できる環境にしている。</p> <p>子どもの様子を保護者と共有し、安心して子どもを預けられるよう支援している 入園当初は特に保護者にはなるべくその日の子どもの様子をしっかりと伝えることにしており、毎日の会話が十分できるよう受け渡しの時間をずらすなどの配慮をして、子どもの様子を保護者と職員で把握し共有している。また、何かあれば電話などで連絡してもらえるよう保護者に伝えている。 入園後の懇談会では方針や保育目標を保護者に伝え、新しい環境に不安や疑問を感じている保護者の悩みを解消できるような場を提供できるように心がけている。</p>			

サブカテゴリ-3		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	12/12
3	個別状況の記録と計画策定		
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		○非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している		○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている		○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている		○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している		○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている		○非該当
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある		○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している		○非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している		○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している		○非該当
サブカテゴリ-3の講評			
職員全員で子どもを見守ることができるよう、定期的に情報共有する場を設けている 子どもの状況は、法人統一の書式で整備されている児童状況調査書や発達チェックシートに記録している。チェックシートには年齢児別に子どもの姿(5領域と発育状況)を記録しており、記録の書き方については差異が生じないよう必ず園長が確認し指導をしている。これらの記録はその月の子どもの様子を踏まえて作成する月間指導計画(月案)の作成時に参照されている。小規模園であり合同保育の時間も多いため、職員全員で子どもを見守ることができるよう、普段から定期的に情報共有する場を設け、誰もが対応できる体制を整えている。			
全体的な計画を職員皆で話し合って作成し、保育の全体像を全職員が共有している 保育の全体的な計画は、目標や教育、養護、長時間保育、食育などの各項目について職員皆で話し合って作成されており、このことにより各職員が全体を把握することができる。年間指導計画、月案・週案は保育の全体的な計画を踏まえ、各領域を考慮して作成されている。年間指導計画は四半期ごと、他の計画は計画期毎に自己評価と保育の振り返りを行い次期の計画が作成されている。また、日々の子どもの状況を考慮し必要に応じて見直しが行われている。保護者には個人面談の機会に子どもの状況と併せ、設定したねらいや目標を定期的に伝えている。			
記録のしかたにも注意し、子どもや家庭の情報を全職員が共有できるよう努めている 個々の子どもの情報は個別ファイルに作成し全職員がいつでも確認できるように保管している。記録については伝わる文章を書くことや発達の理解をして考えて記入するよう園長から伝え、保育実践に活かしやすく情報共有しやすいように記録することに努めている。子どもの情報は日々の申し送りや職員会議の場などで共有しており、閲覧した時には署名することで情報共有の漏れがないようにしている。			

サブカテゴリ-5		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-5の講評			
<p>子ども個々のプライバシー保護に配慮がされている</p> <p>個人情報の使用手順についてはマニュアルに定めている。使用する際は目的を特定してあらかじめ保護者の同意を得て使用することが保護者に周知されており、肖像についてはパンフレットや掲示、園だよりなど個々に同意を得て使用している。保育の現場では着替えや排泄時は間仕切りを使用して目隠しをするなど、子どものプライバシーに配慮している。</p> <p>子ども一人ひとりに向き合い、寄り添った保育が実践されている</p> <p>子どもの気持ちに寄り添った関わりを意識して日々の保育にあたっている。適切な保育や人権尊重については、研修で取り上げるとともに、職員の意識を高めるためには日々の振り返りが大切という考えから毎日の「振り返りチェック」を行い浸透を図っている。訪問調査時の現場視察では子ども一人ひとりに寄り添った声掛けが、遊びの際も食事の際もたくさん見られており、振り返りチェックシートの取り組みが適切な保育を行なう意識の浸透に役立っているものと推察された。</p> <p>虐待については外部研修への参加のほか、園内研修で毎年取り上げて話し合っている</p> <p>虐待については園内研修に毎年必ず組み込んでおり、研修では子どもの人権を守り尊重できる保育とは何か等について職員一人ひとりが考え、意見を出し合い学ぶ機会を設けている。また、人権や虐待に関連する外部研修が開催されている場合は職員を参加させており、区が主催する研修にも積極的に参加している。</p>			

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
6	事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当	
サブカテゴリ-6の講評			
<p>マニュアルを整備し、いつでも確認して対応できるようにしている</p> <p>マニュアルは衛生や感染症、嘔吐、食中毒、清掃、危機管理などが準備されている。危機管理マニュアルでは散歩や事故、誤飲、怪我、アナフィラキシーショック、熱性けいれんの対応マニュアルが整備されており、対応手順の明確化が必要なものについてはフローチャートが作成されている。また、アレルギー対応マニュアルを掲示したり、室内に前述のフローチャートを掲示する等で、勤務する職員がいつでも確認と対応ができるようにしている。</p> <p>毎年度末に職員間で話し合い、業務の基本事項を見直している</p> <p>業務手順の見直しは毎月開催されている系列園の園長会で定期的に行なわれている。園内では毎年度末に、次年度の新入園児を受け入れるにあたり、より良い保育を提供するためにどのような情報が必要かを現場職員と話し合う機会を設け、職員からの意見を参考にして保育の基本事項の見直しをしている。それに伴い、園のしおり(重要事項説明書)も毎年職員により改訂作業が行なわれている。</p> <p>運営委員会の開催時に保護者から意見を収集し、反映できるよう努めている</p> <p>年に2回開催される運営委員会では保護者代表2名から意見を聞く機会を設けている。また、開催前には開催の主旨を保護者に周知し、一定の期間を設けて保護者から意見を収集しており、保育の取り組みや今後の園運営についての要望や提案等を聞き、反映できるよう努めている。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

		サブカテゴリ-4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	34/34
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇)・非該当1	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	<input checked="" type="radio"/> 非該当	
評価項目1の講評			
<p>子どもの意欲を尊重し、玩具は子どもが手に取り、好きな遊びができるようにしている</p> <p>身の回りのことや食事のことなどは、子どもが自分で「やってみたい」と思う気持ちを大切に、見守り、必要に応じて援助するようにしている。保育室の環境は好きな遊びや玩具を自由に選べるように整え、手作り玩具などを置き、遊ぶ時間を多く設けている。0歳児は担任が玩具を提供するが、ソフトブロックなど0歳でも一緒に遊べるものは自由に出し入れできるようにしている。視察時は1歳児は年度遊びを個々に集中して遊んでいた。2歳児はパズルや粘土などのコーナーと設置し自分で選択できるようにしており、発達に合わせた環境がつけられていた。</p> <p>異年齢に自然に親しめる環境となっており、一日の中で臨機に合同保育を取り入れている</p> <p>合同保育の時間を多く設け、異年齢児との関わりを増やしている。朝の会は全園児合同で行い、その後は年齢別や合同保育(散歩など)を柔軟に組み入れて実施しており、おやつは合同で取っている。朝の会には子ども全員が参加をしている。椅子に座り、今日の日付や天気を皆で確認したり、一人ひとり名前を呼び出席をとってその日の予定を伝えていた。全員で挨拶をしてから飲み物を飲み、その後に活動に入っている。自由遊びの時間は個々で興味のある玩具を見つけて遊んでおり、保育者が傍につき、子どもも安心し、集中して一つの遊びに取り組んでいた。</p> <p>環境設定に配慮し、子どもの気持ちを受け止めて支援を実施している</p> <p>現在、特別な配慮が必要な子どもの預かりはないが、キャリアアップ研修などを活用し、障害や医療的なケアについて学び職員間で共有している。子ども同士のトラブルに関しては、思いを汲み取り代弁したり共感したりしながら、なるべく落ち着いて遊べる環境をつくり、職員会議で話し合いを持ち、関わり方を統一して対応している。噛みつきがある年度は、その子についての情報を共有し、必要があれば家庭と連携して個々の援助をしている。また、子どもの気持ちを受け止め、言葉にして代弁する等の対応をしている。</p>			

2 評価項目2		子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)	
評価		標準項目			
●あり ○なし		1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○非該当	
●あり ○なし		2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		○非該当	
●あり ○なし		3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○非該当	
●あり ○なし		4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○非該当	
評価項目2の講評					
<p>生活の連続性を踏まえ、日頃から家庭とのやりとりを密に行い情報を共有している</p> <p>家庭との連携を大切にしており、毎日の会話と連絡帳で日々の情報を共有している。受け入れ時に体調等に変わりがないかを口頭で確認するとともに、検温、視診を行っている。また、連絡帳では細やかに保護者とコミュニケーションを取ってやり取りがされている。お迎えの時は担任がいれば担任が、いない場合は運営担当者などが対応しているが、活動時間内は職員が全員勤務しており、また、申し送りしているので担任でなくとも子どもの様子を伝えることが出来ている。</p> <p>連携をとり、発達過程に応じた適切な生活リズムが作られるよう保育を実践している</p> <p>食事やトイレ、あいさつなどの習慣を伝える際には絵本や紙芝居を用いている。トイレトレーニングや離乳食は保護者個別に声をかけ、保護者から家庭での報告を受けて連携して進めている。また、発達と食事については園内研修に取り入れて学んでおり、食事は毎日の保育の中で、コップを使う、手づかみ食べ、スプーンで食べるなど、食具の使い方等の援助がされている。実施の際は保育者も一緒に行ない、日々繰り返し伝えることで習慣が身につけられている。</p> <p>状況に合わせた睡眠の支援をしており、子どもは保育士の傍で安心して睡眠できている</p> <p>午睡の時間帯は決まっているが、無理に寝かせ続けたり、無理に起こしたりはしないようにしている。寝むたい子は午前寝などしている。午睡時は顔色がわかる程度の明るさにして、寝ない子の場合は常に職員の傍につき行うようにしている。視察時の1、2歳児は簡易ベッド(コット)の上に大判のタオルを敷いて寝ていた。外に行きたくて泣いている子どももいたが、保育者が抱っこをして落ち着けるよう的一对一で関わっていた。保育者に傍について貰うことで、安心して目を閉じている子どもが多く見られた。</p>					

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>集中して遊び込める環境づくりの工夫があり、また、言葉や表現を育む援助がされている</p> <p>間仕切りを活用し、遊ぶ内容や活動毎に空間を作り、粘土や音楽などを集中してできる環境にしている。環境は子どもが飽きないよう、また、子どもの興味や好きな遊びを把握した上で定期的に変更している。</p> <p>表現については、子どもの思いを汲み取り、共感したり、必要に応じて言葉を代弁したりしながら、言葉が伝わる喜びを知り、楽しくやりとりできるように援助している。絵本は自由遊びの時間は自由に見ることが出来る。紙芝居や絵本は保育の中で要所に取り入れており、会話をつなげ言葉や気持ちを理解し、返してあげることを大切にしている。</p> <p>季節に合わせて、年齢や子ども個々の発達に応じた製作を実施している</p> <p>製作活動では季節やその月に関連するものを題材に毎月実施している。壁面には大きな製作物が飾られており、季節感のある装飾がされている。製作は手形足形をとることから始まり、シール貼りやお絵描き、折り紙や粘土、はさみ等、発達に応じて様々な手法を取り入れ、想像力や表現力が豊かに育つように実施している。また、子どもの自由な発想を大切に、達成感や満足感を味わえるようにしている。視察時は雪だるまの製作で、顔と体に子ども達が絵を描いていた。指スタンプで白い雪も描かれていて各年齢の発達段階が伝わる掲示となっていた。</p> <p>発達に応じてルールのある遊びを取り入れている</p> <p>発達に応じてしっぽ取りなどルールのある遊びを取り入れている。また、活動前には約束事を簡単な言葉で話し、物事の善し悪しを伝え、生きる力の基礎が身につくように保育内容を検討して実施している。</p>		
4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>さまざまな体験により豊かな感性を育む行事の内容を職員間で検討し、実施している</p> <p>行事は子どもの日や七夕まつり、遠足、ハロウィーン、クリスマス、節分豆まき、ひな祭りなどが計画されている。0～2歳までの子どもたちでも楽しく参加できる行事内容を職員間で話し合っており、行事を通して様々な体験をし、物事を知り、興味関心を広げていくことで豊かな感性を育ていけるような内容を検討し実施している。実施の前には行事に関する歌をうたったり、絵本の読み聞かせを行い、子どもたちの気持ちを盛り上げ、楽しく行事に参加できるよう工夫をしている。</p> <p>導入に配慮して行事の期待感を高め、当日は一日を通し特別な日となるよう配慮している</p> <p>例えばクリスマスでは製作物をクリスマスに合わせて作っている。歌を歌い、絵本を読む、会話に取り入れるなどして子どもたちの気分を高め、24日にはオーナメントを貼って皆でツリーに飾りつけをする。製作を楽しみ、本番は給食のメニューも行事にちなんだ献立を提供し、サンタが来て期待が喜びにつながられている。</p> <p>保護者には掲示や動画の配信、写真の提供などで行事の様子を伝えている</p> <p>行事の実施事項や様子はお知らせや掲示で伝えるほか、職員と子どもたちだけで行う行事についてはその様子を動画の配信サイトを利用し保護者に公開している。動画では季節の行事のほか、食育、活動の様子なども伝えている。そのほか、写真販売を行ない、保護者に行事や園の生活の様子を知ってもらっている。</p>		

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている		○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている		○非該当
評価項目5の講評			
<p>長時間保育の子どもが無理なく落ち着いて過ごせる環境づくりをしている</p> <p>開所は7:30であり、早い時間に預かる子どもも在籍している。延長保育は19:30までであるが、調査時点ではスポット利用のみの受け入れとなっている。長時間保育時の室内空間は間仕切りで区切り、また、休息の時間を取り入れて子どもが無理なく落ち着いて過ごせる環境づくりをしている。遊びの環境では子どもの好きな遊びや玩具を自由に選んで遊べるよう設定し楽しく過ごせるよう配慮している。</p> <p>日常的に職員全員が子どもも個々と関わり、どの職員でも安心して過ごせるようにしている</p> <p>延長時の職員配置では選番担当者を配置し、1対1での関わりを増やして寄り添う保育を心掛けている。また、担任かどうかにかかわらず、職員全員が常日頃から子ども一人ひとりと関わり、申し送りでのその日の様子を把握できる体制を整えることで、どの職員が担当しても安心して過ごせるようにしている。</p>			
6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している		○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている		○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している		○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている		○非該当
評価項目6の講評			
<p>環境づくりと適切な声掛けにより、落ち着いた雰囲気の中で食事が進められている</p> <p>食事は無理強いせず、好きなメニューを自分で選んで食べることができるようにし、必要に応じて声をかけ援助している。食事の際は、全職員が手洗いの後にビニール手袋をつけ、こまめに手指の消毒を行い衛生面に配慮している。0歳児の食事では一対一で関わり、食材の名前を伝えたりしながらゆったりと声掛けをしており、落ち着いた雰囲気の中で食事が進められている。1、2歳児の食事でも個々の発達や食事のペースに合わせて介助をしたり、適切な声掛けがされており、子どもたちも落ち着いて無理なく食べ進めることが出来ている。</p> <p>園内でアイデアを出し合い、地方の郷土料理などバラエティー豊かな献立を提供している</p> <p>法人の調理師会が2か月に一度給食会議を開催し献立の決定などしている。園からは献立の好不評を月次報告し献立に反映させており、調理師と相談し、子どもたちが楽しくおいしく食べることができるアイデアを考え、盛り付けや形状等の工夫をして提供している。また、行事にちなんだ献立や郷土料理も取り入れており、埼玉のわらじかつ、みそポテト、広島尾道ラーメン、沖縄のタコライス、新潟のたれかつ丼などバラエティー豊かなメニューを提供している。形状や固さは個々の発達状況を考慮して提供し、アレルギーについては個々に丁寧に対応している。</p> <p>年間食育計画に沿って、食べることへの意欲につながる食育が実施されている</p> <p>食育は月1回、全クラス合同で実施している。食育計画は1年を4期に分け、0～2歳児のねらいを期毎に設定し、食べることへの意欲を高めている。見た目や味違いを知る、簡単な調理や体験などをして食材に興味を持つ、正しい姿勢や食具の持ち方を身につけるなどのねらいに沿って、4月以降、栽培体験や魚の観察、鞆取り、出汁の飲み比べ、調理の手伝い、お芋を比べる、クリスマスケーキの盛り付け、鏡開き、おにぎりづくりなどが毎月計画されており、食に関することを様々な視点から学び、食への意欲や関心を広げられるよう取り組んでいる。</p>			

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>大人も子どもも手洗いを丁寧に行い、習慣化して感染症予防に取り組んでいる</p> <p>日頃の保育の中で、手洗い・うがいの指導を取り入れ、習慣がつくようにしている。手洗い場には手洗いの手順の表や「てあらいのうた」と記入された表を掲示し、また、手洗いをしているウサギやうがいをしているクマの絵を掲示しており、子どもの視界に入る位置に子どもの興味を持てる掲示をしている。視察時の様子では、活動の前後に手を洗うことが習慣になっていて、子どもも大人も丁寧に手洗いを行っていた。</p> <p>SIDS対応訓練や医療的ケアに関する情報収集などで対応力を高めている</p> <p>毎月の検診時には、体調が気になる場合など家庭からの相談内容を担任から嘱託医に伝えて相談しており、その内容を保護者に伝えていく。保育中の急な体調不良や怪我については関係医療機関にすぐ連絡し受診できるよう、緊急連絡先一覧を常に掲示するほか、2か月に1度のSIDS対応訓練の実施や嘔吐処理訓練などを園内で実施して対応力を高めている。</p> <p>医療的ケアが必要な子どもを預かるときに対応できるよう情報収集に努めており、中央区の私立園長会から得られる資料や本部からの情報などをもとに必要な対応策を検討している。</p> <p>感染症などに関する情報は掲示と連絡メールを使用して保護者に周知している</p> <p>午睡中は0歳児は5分毎、1～2歳児は10分毎にプレスチェックを行ない、常に仰向けで寝る体勢に正し、必ず視診、触診をしている。また、0歳児はベビーセンサーを使用し、乳幼児突然死症候群の予防に努めている。</p> <p>保健に関する情報は玄関の掲示コーナーに「新型コロナウイルスの感染症の予防について」などのお知らせを掲示するとともに、園内での感染症の流行時などは園内連絡網(メール)を使用して保護者に注意喚起をしている。</p>		
8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>個々の家庭の状況や就労状況に柔軟に対応し、保護者支援をしている</p> <p>スポットの延長保育受け入れや保育時間の変更など柔軟に対応しており、家庭状況を踏まえた上で個々の事情に応じ、柔軟な対応ができるよう心掛けて支援をしている。保護者との個人面談は年2回実施しており、子どもの状況について認識を共有し、また、個々の家庭からの相談に応じている。</p> <p>保護者同士の親睦を深める機会として例年であれば保護者懇談会を開催している</p> <p>例年5月頃に保護者懇談会を開催し、懇談会後に担任を交えた座談会形式での保護者交流会を開催している。交流会は相談しやすい雰囲気形成することを目的として年度の早い時期に気軽に参加してもらっており、保護者同士の親睦を深められる貴重な時間となっているが、2021年度はコロナ禍であるため中止している。</p> <p>保育参加は保護者が子どもの発達の理解を深める機会となっている</p> <p>保育参観、保育参加を実施している。各クラスで3か月の期間の中で1日1組設定し、ほぼ全家庭が参加している。保育士と同様に子どもと一緒に過ごして遊び、食事と一緒に食べることでクラスの様子を見ることができ、発達の理解が深まる取り組みであり、実施時は積極的な参加を呼び掛けている。</p> <p>保護者が参加する行事については、開催の1ヶ月以上前に案内し無理なく参加できるよう配慮している。園内で保護者が参加しない行事や日々の保育の様子については、毎月の園だよりや掲示のほか、動画配信や写真の販売などにより保護者に伝えている。</p>		

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>地域の人たちとの交流はコロナ禍により課題となっている</p> <p>連携園との交流があり、コロナ禍前は頻繁に訪問していた。コロナ禍においても年に1, 2回うがい指導に参加し、その際に連携園の園庭を借りて遊んだりしている。また、コロナ禍前は図書館に本を借りに行ったり、ハロウィンでは仮装して練り歩き、地域にお願いしてお菓子をもらったりしていたが、これはコロナ禍により中止となっている。</p> <p>日常的なかかわりの中で地域の人たちとの自然なつながりができている</p> <p>戸外活動時に園の周辺の店舗の人たちに積極的に挨拶し会話を重ねていく中で、地域の人たちに何かと気に掛けてもらっている。防犯面においても安心材料の一つとなっているとのことであり、近隣地域との自然なつながりができている。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	子どもたちが五感をフルに使い、楽しい経験の中で様々な力を育めるよう取り組んでいる	
内容①	2歳児までの保育園であっても、子どもたちが五感をフルに使い、楽しい経験を沢山積み重ねていけるような活動をしている。製作活動は季節に合わせて毎月実施し、手形足形をとることから始まり、シール貼りやお絵描き、折り紙や粘土、はさみ等、発達に応じて想像力や表現力を育てている。食育は毎月、食材に実際に触れ、匂いをかいだり、大きさを見比べ、時には簡単な調理の手伝いをする等、楽しむことで食に関心を持ち、食べる意欲につなげている。行事は紙芝居や絵本を読むなど導入から力を入れ、その日が特別な日となるよう職員皆で盛り上げている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル②	保護者が安心して預けられる環境をつくり、開かれた保育園であることを心掛けている	
内容②	慣らし保育を終えた5月頃に保護者懇談会や保護者交流会を企画し、新しい環境での不安や疑問を解消できるよう取り組んでいる。また、交流会は座談会形式で行い、保護者同士の親睦を深められる貴重な時間となるようにしている。保育参加や保育参観等、保護者が参加する行事を定期的に企画・開催し、実際に保育の様子を見てもらう機会を設けている。保護者参加ではない行事や日々の保育の様子は、保護者向けの動画配信や写真販売で伝えるなど、園の様子や子どもの姿を伝え、相談しやすい雰囲気づくりをして保護者支援につながるよう努めている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-1-3	事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる
タイトル③	職員の成長意欲を大切に、伸び伸びと自主的に働ける職場を目指している	
内容③	より働きやすい職場環境を目指し、入社時は園長や保育リーダーを中心に丁寧に研修を行い、1ヶ月経過後に面談を設けて心境を聞き、不安や疑問を解消することに努めている。職員個々の状況を踏まえ、キャリアアップ研修や区の研修等に積極的に参加してもらい、また、園内研修で保育に必要な知識の習得や意見交換を行なって保育力の向上に努めている。そのほか、毎日の振り返りチェックシートなどにより職員の悩みなどに早期に気づけるよう心がけ、積極的にコミュニケーションをとって皆が、楽しく働ける環境づくりに力を入れて取り組んでいる。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	豊かな生活体験を重ね、生きる力の基礎が身につくよう日々の保育を推進している
	内容	室内では静と動の遊びを上手に取り入れ、子どもも室内でのさまざまな活動に楽しく参加する姿が見られた。2歳児の粘土遊びでは、保育者と一緒に歌を歌いながら、丸めたり、ちぎったりと手先を動かして楽しんでいる。また、音楽を流してさまざまな体操やダンスを楽しんだり、バランスストーンを並べて運動遊びを行うなど、室内でも体を十分に動かして過ごしている。園外保育では季節を感じられる活動を計画し、天気が悪くなければ園外に散歩に出かけ、さまざまな公園に行っている。公園ではどんぐりや落ち葉拾いなどをして製作に活かすこともある。
2	タイトル	子ども個々を尊重し、時に見守り、励まし、子どもの「やってみたい」という気持ちを大切にしている
	内容	視察時は子ども一人ひとりに寄り沿った声掛けが遊びのときも食事のときもたくさんされていた。子どもの話に耳を傾け、話を始める際は子どもたちが聞く姿勢を作ってから話を始めており、子どもも意識して保育者の話を聞いて行動に移す姿があった。食事や着替え、手洗いなど適宜の声かけにより子どもが意欲的に行動できるよう促し、活動では頑張っている子を皆で応援し拍手をして、楽しい雰囲気の中で子ども個々の意欲を高めている。「やってみたい」という気持ちを引き出し、尊重し、時に見守りながら援助することを心がけて日々保育にあたっている。
3	タイトル	日々の保育の中で職員同士が連携し、工夫をして子どもたちにとって過ごしやすい環境がつけられている
	内容	職員同士が連携して保育にあたっている。視察時は部屋を移動する際や子どもから離れる際もその都度声を掛け合い、衣服の調整や子どもの体調などを伝え合い、職員同士で声を掛け合って保育を進めていた。また、一つの空間の中で間仕切りなどを用いて臨機に生活や活動のスペースを作り、時間を決めて遊びのスペースを交換する等、空間の使い方を工夫し、移動や活動の変更なども非常に円滑に行われていた。これらの連携の中で子どもたちにとって過ごしやすい環境がつけられており、子どもたちは落ち着き、家庭的な保育環境の中で安心して過ごしている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	外部に向けた情報提供についてはICTの活用なども検討し、工夫をして取り組んでいくことを期待したい
	内容	外部に向けた情報提供としては法人のウェブページがあり、保育理念などが丁寧に案内されている。園の案内ページも概要が理解でき、写真を取り入れた分かりやすい内容となっているが、園ではウェブページだけでなく、パンフレットの更新や情報提供の工夫などしていきたいという意向がある。コロナ禍もあり保育園でのICTの活用なども急速に進んでいるため、ICTの活用なども検討し、ぜひ様々な工夫をして事業所のアピールをしていただきたい。
2	タイトル	コロナ禍にあり地域との交流機会については課題となっている
	内容	園行事の開催時には地域の人たちに協力を依頼することもあったが、コロナ禍により行事での交流や関わりが難しくなったことは課題として捉えている。状況を見定めて機会を見つけ関わる機会や交流の機会を見出してほしい。また、コロナ禍にあっても普段の挨拶などの中から近隣地域との自然なつながりができていることは素晴らしいことであるため、近隣との自然な交流や日常の触れ合いなどをこれからも大切にしてほしい。
3	タイトル	玩具が増え、自由遊びがより充実していくことを期待したい
	内容	保育室には手作りのポットン落としやブロック、大きいサイズのソフトブロック、電車等の乗り物の玩具等が用意されている。園では手作り玩具やその他の玩具を増やして自由遊びをより充実させていきたいという意向がある。玩具が増え、子どもたちも個々に興味のある玩具を見つけられ、より一層遊びが充実できるよう今後の取り組みに期待が持てる。